

図書館部報

岡崎市現職研修委員会
学校図書館部
平成22年7月26日
No.2

次の朝会、どんな話をしてくれるの？

現職研修委員会学校図書館部部长
大門小学校 塩澤 順治

うつむき うつむき
そうっとあげた手 はじめてあげた手
先生がさした

どきりと胸が大きく鳴って
どつきどつきと体が燃えて
立ったとたんに忘れてしまった
なんだかぼそぼそしゃべったけれど
なにを言ったかちんぷんかんぷん
私はことりとすわってしまった



これは、月曜朝会で紹介した絵本『教室はまちがうところだ』の一節である。一年に数回、月曜朝会で絵本の読み聞かせを行っている。できるだけ若手、中堅の担任にも登場してもらっている。

「わかった人？」「できた人？」

授業を進めていく教師の問いかけは、こんな言葉で始まることが多い。わからなければ、できなければ、手をあげるなどできない。小さくなって黙りこくって、それでもやっと手をあげて答えたとき、教師は「うん、そうね。ほかに？」と、曖昧な言葉をかけたまま、教師の目は、確かな答えをしてくれそうな人へと移っていく。そのときの子どものさびしそうな顔が、この場面から浮かび上がる。

教室は間違ふところ、教室は間違いながら答えを探していくところ。そのことがしっかりとわかっていたら、どの子どもどんなにか楽しく、授業に参加できるだろうかと訴えてくる作品である。

6月28日から本校では「かたつむり本読み週間」と題して、全校で読書に親しんだ。読書週間の最終日には、読み聞かせボランティア「PiPiの会」による素敵な読み聞かせが子供たちを魅了した。そして、その後に行われたPiPi主催の読み聞かせ研修会では、講師の先生が絵本を使って実際に読み聞かせの手本を示された。声の抑揚のつけ方、テンポや間の取り方、ページのめくり方、本の持ち方、聞いている子供たちの声の拾い方など、奥が深く、興味の尽きない講演であった。

「校長先生、次の朝会、どんな話をしてくれるの？」「今度はどんな本ですか？」と声をかけてくれる子の笑顔に癒される。



平成 22 年度 読書ゆうびんコンテスト

とても心に残った「本」のことを絵と文章ではがきにかいて、だれか読んでほしい人に送る・・・
それが『読書ゆうびん』**募集期間** 平成 22 年 7 月 1 日～10 月 31 日(当日消印有効)

★読書ゆうびんコンテスト おすすめ図書を紹介★

書名	著者	出版社	定価(円)
ソルハ	箒木蓬生	あかね書房	1680
ゴインキョとチーズどろぼう	エミリー・ロッド	あすなろ書房	945
秘密のマシン、アクイラ	アンドリュウ・ノリス	〃	1470
ちゅうしゃなんかこわくない	穂高順也	岩崎書店	1365
ルルとララのシャーベット	あんびるやすこ	〃	1050
ともだちや	内田麟太郎	偕成社	1050
種蒔きもせず	星野富弘	〃	1575
ぼくとかあさん	いもとようこ	金の星社	1470
せんろはつづく まだつづく	竹下文子	〃	1260
ゆうびんやぎさん	杉元美沙希	くもん出版	1260
したのすいぞくかん	あきびんご	〃	1260
恐竜トリケラトプスときけんな谷	黒川みつひろ	小峰書店	1365
こうえんどおりのようふくやさん	堀直子	〃	1050
おいでよ!むしのもり	タダサトシ	小学館	1365
くまの楽器店	安房直子	〃	1575
おまえ うまそうだな	宮西達也	ポプラ社	1260
お願い!フェアリー ダメ小学生、恋をする	みずのまい	〃	924
点子ちゃん	野田直子	毎日新聞社	1365
古道具ほんなら堂~ちょっと不思議あり~	楠章子	〃	1365
やまなし	宮沢賢治	三起商行	1575
注文の多い料理店	宮沢賢治	〃	1575
くまのつきのわくん	片山令子	理論社	1050
小さな王さまとかわるい竜	なかがわちひと	〃	1155
風にのっていったダニーナ	ジェイン・ヨーレン	富士房インターナショナル	1680
新版 芭蕉絵物語	内野三恵	〃	1575

学校図書館 授業力・教師力アップセミナー「基礎編」

1 日時 平成 22 年 8 月 5 日 (木)

2 場所 図書館交流プラザりぶら 会議室 301・302

3 内容 ① 岡崎の昔話のストーリーテリング
② 各学年の読み聞かせによる本の紹介
読み聞かせの講義と実演
③ 読み聞かせの実習

講師 岡崎むかし語りの会 代表 荒木一枝様

岡崎子どもの本研究会 浅井洋子様